



WEEKLY REPORT

2007-2008 No.33 2008年3月6日

会長◆松井一郎 会長エレクト◆長野芳剛 副会長◆矢部光治
 幹事◆長野芳剛 SAA◆山本三津子 会計◆横瀬元治 ◇広報委員長：坂井 幸
 E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp Website: http://www.zushi-rc.com/
 例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~
 例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL: 046-870-6651
 事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX: 046-873-0226

本日の進行 (12:30)

今井武志名誉会員
 「逗子 RC の歴史」
 一次回のお知らせ

3月13日(木) (18:30)

加藤 薫氏
 「町のアートデザイン」

◀ 第 2244 回 例会記録 2008年2月28日 ▶

出席報告	会員数 46 名(出席免除 9 名)	出席数 24 名	出席率 64.86%	前回修正出席率 67.57%
ゲスト	鈴木かほる氏 (中世史家)		メークアップ: 5名 (21日例会分・IMで)	

■ 会長 談 話 松井 一郎 会長

皆様こんばんは、春が来たとは言え、寒い日と温かい日が交互に来る日々が続いております。季節の変わり目は健康を害しやすくなりますので、体調管理にはくれぐれもご注意ください。

先日、福嶋会員のお見舞いに行ってきました。お元気そうで、あと数日で退院するとのことでした。

長野会長エレクトも PETS が終わり、いよいよ次年度の組織作り体制に、思案の日々が続くものと思います。会員の皆様の協力をお願いします。併せて3月14日(金)地球温暖化問題シンポジウムの協力そして、参加者への PR 動員を、切にお願い申し上げます。私達は、興行師でもなく、人を集めるプロ集団でも無い、素人の団体です。常に4つのテストに照らし合わせて、「みんなのためになるかどうか」という視点で活動しています。会員の皆様の「一声」大きく、ご近所ご友人をお誘い合わせの上、ご参加をお願いいたします。

本日は、ゲストに歴史研究家の鈴木かほるさんをお招きして、卓話をして頂きます。鈴木さんは、三浦半島の

豪族、三浦氏を研究し三浦氏にまつわる学術論文などを6年をかけて研究し、その足跡をまとめた「相模三浦一族とその周辺史」を出版されました。相模国三浦群を本拠とする三浦一族は、北条氏と並ぶ権力を持った有力な一族であったこと等、三浦氏の系譜もお話して頂けます。また、坂本龍馬の奥さんおりの生涯の本等、沢山の書籍を出版されています。会場の入口にて販売していますので、ご希望の方は、お申し出下さい。7月の例会では、「ペリーからの贈り物」のテーマで開国史研究家の山本昭一氏に卓話をして頂き、2月の第一例会では、県教育委員会生涯学習課の榊淵規彰氏に長柄桜山古墳の話をして頂きました。歴史を学ぶことは、大変素晴らしいことです。

本日は逗子開成学園のインターアクトクラブのアクター錦君の台湾研修の報告発表がありますので、宜しくお祈りいたします。顧問の安竹先生、安田先生、本日はようこそお越し下さいました。本日の例会をごゆっくり楽しんで頂きたいと思っております。

■ 報 告

インターアクト台湾研修報告 逗子開成 錦 懸太郎君

2008年12月、3泊4日で地区内 IA クラブ会員と共に参加した。キーワードは「出会い」。台湾という国と出会い、台湾のイターアクトと出会って感化され変わることが出来た。共に旅行をしたイターアクトとは分ち合い助けあい、更にロータリークラブの皆さんから自分達が支えてもらっている事を知った。

インターアクトクラブ顧問 安田先生・阿竹先生→

長野幹事：ガバナー月信No.8/週報：京都紫野 RC
 2010-11 年度ガバナーノミニー確定宣言：
 大和中 RC 後藤定毅会員



三浦一族は、五十代桓武天皇の流れをくむ桓武平氏である。でありながら源氏の筆頭家臣となった。三浦義継の「義」は、源義家から授けられた源氏の通字であり、この義継以降、一族は、実名に「義」をつけ義明、義実、義忠、義宗、義澄、義村、義盛と名乗っている。これは三浦氏だけである。三浦義明の娘は、源義朝に嫁ぎ頼朝の腹違いの兄義平を儲けている。義明は娘婿義朝と孫義平を平治の乱で失い、以後、関東の御後見は大庭景親となり義明の介職(カヅ)は有名無実となっていた。したがって源氏の再興は、義明にとっても悲願であった。衣笠合戦のとき「子孫の勲功に募らんと欲す」と言って、子らを脱出させ城に一人残って自刃したのは、命を投げ打つ代りに、源氏再興の暁には、子らが幕府の要職に就くことを頼朝に暗に願ったものに他ならない。

義明の死は無駄でなかった。その思わく通り、子義澄は相模守護(ソゴ)、御厩(オウヤ)別当となり、孫和田義盛は侍別当(サムライバツリ)となる。一族の所領は、相模守護として相模川の交通の要所・大住郡田村渡しを押し、対岸の安房、陸奥会津や奥山庄、若狭(福井)、能登(石川)、遠江笠原庄、河内、紀伊、和泉、土佐、美作、讃岐(カヅ)、香岐(伴)など全国に及び、中でも遠江、若狭は国司であり、さらに判官の職を得た。源義経が源氏の誉れとまで称した、あの判官である。

義村の子泰村は、宋貿易の絶頂期に九州宗像(ムカフ)社領を預かり、九州鐘ヶ崎と鎌倉和賀江嶋を執権北条氏とともに築港した。この東西の築港は、義村が執権の外戚として、もっとも良いコンビネーションのときに行われている。義村は、娘婿・中納言親秀(カヒデ)(親季)を京とのパイプ役とし、子泰村を東使の役に就かせている。泰村の弟光村は、將軍頼経が二歳のときから昵近し、名越光時とともに側近集團の代表的存在であった。頼経の妻大宮局は、義村の娘婿親秀の姪であり、もう一人の二位殿も義村の意を受けて決定した妻である。將軍頼経の父九条道家を閹白に復権させたのも義村であり、その閹白道家の更迭を企て公家たちに恐れられている。王法・仏法、武芸・芸能を身に付け、関東を代表する権門として、京都政界に絶大な影響力を持つまでになっていた。



ところが泰村のとき、執権北条家から娶った二人の妻が病死し、父、執権泰時と相次いで死に、執権との絆が途切れたとき、安達氏により戦いを仕掛けられ滅亡したのである。

(中世史家)

著書：「相模三浦一族とその周辺史」「三浦半島の史跡みち」「坂本龍馬の妻 お龍」「三浦半島」他

■ ニコニコBOX (41,000円)

- 松井君…鈴木かほる様、三浦一族の話楽しみにしていました。インターアクターの錦君、台湾研修の報告よろしくお祈いします。
- 矢部(光)君、長野(芳)君、市川君、山口君、船津君、湊屋君、坂井君、石田君…鈴木かほる様、卓話よろしくお祈いします。
- 桐ヶ谷君…鈴木さん三浦一族の話、期待しています。
- 石黒君、毛利君、三宅君…鈴木様、「三浦一族」のお話楽しみです。
- 横瀬君…明日はうるう年のおくりもの。鈴木様、よろしくお祈いします。
- 臼井君…インターアクター錦君及び顧問の先生ようこそ！
- 藤吉君、桐田君…親睦旅行楽しみにしています。
- 矢島君…遅れました。

- 杉本君…早いものですね。如月もあと一日で弥生となります。3月8日に癒しのクラシックオーケストラが文化プラザで開催です。時間がありましたららのぞいて見てください。
 - 安藤君…ライス国務長官ではありませんが、ライス空軍中將が在日米空軍司令官に就任致しました。
 - 橘(武)君…く女房に ダメねと言われ ダメになる)
 - 岩瀬君…睡眠不足です。
 - 山本(三)さん…睡眠不足・パート2、
 - 山本(由)君…もうすぐ春ですネ！！
 - 村田君…春がそこにいる。
- | | | |
|--------------|---|-----------|
| ニコニコBOX 本日合計 | ¥ | 41,000 |
| 累計 | ¥ | 1,610,024 |
- ご協力ありがとうございました。

《編集だより》

▼今回の卓話は、政略結婚でかろうじて命脈を保っていた一族が縁故を失い滅亡した歴史だった。三浦半島の豪族三浦一族が時の権力者鎌倉幕府や執権北条氏と縁戚関係となり、知行を拡大し、京都の中央政庁の役人となって繁栄を極めたが、権力者の縁故を失い、一族の繁栄をねたむ豪族に攻め込まれ滅亡の道を進んだ故事来歴である。▼今の時代にも同じ運命を辿る事例が多々ある。縁故を利用して政界に出たものの実力不足で失態を招いた例、縁故で事業を拡大したが破綻した例、枚挙にいとまが無い。 クラブ会報委員長 坂井 幸